

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 野村義雄
幹事 深見章
会報委員長 北野寿三郎

No. 1

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束 — 平和に献身
1987~88年度 R I会長 チャールズ・C.ケラー

第245回例会 昭和62年7月7日(火) 晴

- ◇ “君が代”
- ◇ “奉仕の理想”
- ◇ 乾杯 武内副会長
- ◇ 出席報告

会員	54名	出席	44名
出席率	81.48%		
前回	6月30日	(修正出席率)	94.44%
- ◇ ビジター紹介
名古屋東R.C 尾関 重雄直前名古屋第二分
区代理 他6名
- ◇ お誕生日祝福
菅原夫人(6/26)、小池夫人(7/9)、鷲野君(7/
11)、渡辺夫人(7/12)、小笠原君(7/13)
- ◇ ニコボックス
直前名古屋第二分区分代理 尾関 重雄君
会長、幹事さん1年間ご苦労様でした。
寺沢 竹三郎君 62年6月30日付で一身上の
都合で退会させていただきます。今日まで
のご友情、ご厚情に感謝いたします。
名古屋千種ロータリークラブのご繁栄と会員
皆様のご健康をお祈りします。
小林 明君 永らく御無沙汰致しました。
野村 義雄君 本年度よろしく願います。
水野 民也君 27年100%は皆様のおかげで
す。感謝します。BPAA(アメリカボウリ
ング場協会大会)に出席しました。
宮尾 紘司君、吉田 節美君、池田 隆君
出席委員会1年間お世話になります。
加藤 敏昌君 野村丸、ヨーソロー。
大口 弘和君、尾関 武弘君 SAA1年間
よろしく願います。
鷲野 義明君 SAA1年間よろしく願
います。2年間皆出席、感謝します。誕生日
祝い。
小池 宗君 SAA1年間よろしく願
います。夫人誕生日祝い。
松藤 国弘君 野村号本年又お世話になり

す。おかげで3年間皆出席出来ました。
谷口 暢宏君 新旧役員の皆様ごろうさま。
菊池 昭元君 新年おめでとうございます。
役員の皆さんの御健闘、会員皆様の御健勝を
祈念します。
武内 清君 これから1年間よろしく願
います。
菅原 宣彦君 加藤前会長はじめ役員の皆様
ご苦労様でした。野村会長はじめ新役員の皆
様よろしく。夫人誕生日祝い。
秋山 茂則君、太田 茂君 本年もよろしく。
真下 勝利君 今年度もよろしく願いま
す。
青山 敏郎君 いたりません幹事で申し訳あ
りませんでした。本年の幹事に期待いたしま
す。
渡辺 辰男君 夫人誕生日祝い。
小笠原 清君 誕生日祝い。

◇ 深見幹事報告

1. 斉藤 康二君、寺沢 竹三郎君が、6月
30日付にて仕事の御都合で退会されました
のでご報告申しあげます。
2. ロータリーの友7月号がきておりますの
で、お帰りにお持ち下さい。

◇ 新旧会長・幹事ラベルボタン引き継ぎ

◇ 加藤(敏)直前会長挨拶

1年間皆様方の御好意御協力に関しては、
前回御礼申し上げておきましたが、本日も重
ねて御礼申し上げます。私と違って野村新会
長は、人生の色々な修羅場を潜って来ておら
れますので、立派なクラブ運営をされる事と
思います。1週間働いて例会に出席し、男の
サロンの雰囲気が出て心安まる一時が持てる
様なクラブに発展する様願っております。こ
こに一曲野村さんが所属されていた大学の消
遥歌と私のお別れもこみてショパンのエチュ
ードを流させていただきます。

◇野村新会長挨拶



間もなく創立5周年を迎える記念すべき年に、思いがけざる会長職を務めさせて頂く仕儀となりまして、誠に身のひきしまる思いであります。只々、誠心誠意職務を全うさせて頂く所存でありますので、どうか皆様の温かいご支援をお願いする次第であります。

クラブ創立以来5ケ年に及ぶ間、歴代会長理事役員の皆様が大変なご苦心、ご努力を注がれた結果、今日の素晴らしい千種ロータリークラブが育って参りました事に対し、諸先輩に深い敬意と感謝の念を捧げたいと思います。

一つの組織が5ケ年という短い期間に立派な体をなすということは、容易な事ではないと思います。数10年の歴史を有する企業、団体に於ても、欠陥部分が露呈したり、内紛が起こったり、色々不満足な部分があるものであります。その様なことを考えますと、歴代会長がこの短期間に、如何に精力を集中されたかという事が痛い程分るわけであります。

このご努力を無にすることなく、その成果の上に更なる発展をと考えますと、誠に責任は重大であると考えています。

一つの団体が生成発展する過程に於ては、ある面が強調されたり、次の段階に於ては、別の面が伸展したり、常に変化を伴い、危機を孕みながら、その時その時の最適状態を求めて進んで行くものだと思います。従って情勢の変化に対応した現象が種々の形で表面化して参りますが、その変化は根底にハッキリした基本的理念があってこそ、その現象形態に意味があるものと思います。従いましてその時その時の会長はハッキリした理念のもとに、情勢の変化に見事に対応して来られたのだと思います。そう考えますと私は、今一つの峽にたつて努力すべき立場にあると痛感致しております。

勿論基本とすべき理念は奉仕の精神であると教えられています。所で未熟な私にはロータリーの言う処の奉仕の精神とは何か、が、仲々理解出来ずにおりました。

職業を以て社会に奉仕しているロータリアンであっても、超我の奉仕に徹し切れるのか、現社会体制下に於て、経営の責任者としては最大の利益を追求し、経営母体の強化と従業

員の生活同上に努力すべき使命を持ちながら一方では犠牲を伴う超我の奉仕を理念とする行為が可能であろうか、相矛盾するものが完全に一体化されて、自らの精神構造を変革していくことが出来るのだろうかと考えますと、誠にロータリーとは人間修業の場であると考えさせられます。

ロータリーは慈善団体ではなく、実業家、職業人の集団であって、時には孤独感にさいなまれる経営の頂点に立つ者が、相互に助言し合い、アイディアを交換し、励まし合いつつ親睦を重ね、お互いの成長を期する場であると考えておりました。この様な考え方と奉仕の精神とが、どう一体化するのかという問題について、色々と教えを受けましたが、結局、ロータリーで言う処の奉仕とは、集団的、物質的な奉仕を言うのではなく、深く心の中に根ざすところの「思いやり」の上に立って、物事に対処することだという教えが、私には一番理解しやすい教えでした。

そう考えますと、会員相互がより深く理解し合うことが肝要であると痛感致します。そのためには親睦の場なるべく沢山持つことが必要ではないかと思えます。従って例会はいつも明るく楽しくする様努めたいと思えますし、出来る限り出席して頂きたいと思えます。

次に今年度のR I会長ケラーさんはテーマとして「奉仕に結束、平和に献身」をとり上げられました。ロータリーの基本理念は奉仕、超我の奉仕となっているわけで、これをテーマとしてとり上げたことは当然のことと考えますし、奉仕の概念について、私としてどう考えるかは既に申し述べましたが、平和に献身というテーマは、誠に時宜を得たテーマだと思います。勿論ロータリーは、世界に於ける親善と平和の確立に寄与することを目指す実業家並びに職業人が、世界的に結び合った団体と公式に定義されております。従いましてこのテーマも当然と言えば当然のことですが、現在米国が日本品の輸入に対して報復関税というような日本人としては理解に苦しむ名目で強硬政策をとっている状態は一種の戦争であると思えます。欧州もまた日本攻撃に加わり、中国さえも盛んに日本を非難している有様は、昭和15、6年頃のA B C D包囲網を憶い出させるに十分な程、異常な国際状況だとも言えると思えます。今こそ正に相手方に対する思いやり、理解の心を相互に深くせねば禍根を残すことになりましょう。

昭和に入って満州事変、支那事変、太平洋戦争などを経て、数百万人の尊い生命の犠牲と、莫大な資産、領土の喪失によって、日本は今日の平和を得たわけですが、戦後長い平

和がつづき、平和というものは空気や水と同様に当り前のものになってしまい、戦争という悲惨な犠牲と反省の上に今日の平和があることが忘れられ勝ちであります。

戦争という言葉さえ、日本では既に風化してしまっており、戦争を知らない世代が日本の中核をなしています。戦争のない世界ということは人類の理想であり、幸にして日本はこの42年間、戦争の悲劇を味わっていません。国民生活の向上、国家の繁栄を考えると、こんな嬉しいことはありません。

戦争というものは残酷なものです。肉体ではなく人間性の破壊をも伴います。戦時中人間はどれ程残酷になるものかを知った私は、絶対戦争など起こしてはならない、長い平和を維持する為には、如何なる犠牲をも惜しんではならないと思います。

言葉の上とはいえ、貿易戦争などという状態を「思いやり」の精神により極力早く解消することが必要であると思いますが故に、ケラー会長の「平和に献身」のテーマは時宜に適したテーマとして深く胸に刻み込められた次第で、私はこのテーマを大切にしたいと考えています。

以上、長々とつまらぬ事を申し上げましたが、もとより浅学非才、徒らに馬令を重ねたが会長職を見事にこなす事など到底不可能ではあります、私なりに肩肘をはらず、自然体で、誠心誠意ことに当りたいと思っています。

「明るく楽しい品位あるクラブ」でありつづける様努力していきたいと存じますので、どうか皆様の温かいご支援を賜り大過なく大任を果たすことが出来ます様、よろしくお願い申し上げます。

尚加藤直前会長は健康に関するお話をづけられて、皆様は大いに得る処がおりだったと存じますが、毎週皆様のお役に立つ様なお話をすることなど、到底私には出来かねますので、ご挨拶の中味につきましてはどうかご期待下さらず、少しでも長く食事をお楽しみ下さい。その分だけご挨拶を短くさせて頂きたいと考えています。

あと一ヶ月で創立五周年を迎えます。実行委員の皆様には、特別のご尽力を賜り、スマートにスムーズに行事が進行いたします様、お願い致します。

最後になりましたが、直前会長が奮勇を振るって実施された、例会と理事会での禁煙は継続いたしたいと存じます。趣味嗜好の問題であり、画一的に禁止することに異論のある会員もいらっしゃると思いますが、会場の空気も清浄であったことに思いを致され、曲げてご同意を得たいと存じます。

以上を以てご挨拶とさせていただきます。

◇出席 100%記念品贈呈

1986~87年度 100%出席者名

27年(1名)

水野 民也 君

5年(13名)

石田 耕嗣 君 ・ 加藤 大豊 君

菊池 昭元 君 ・ 黒須 一夫 君

松居 敬二 君 ・ 三輪 康 君

水野 賀統 君 ・ 成田 良治 君

佐野 寛 君 ・ 菅原 宣彦 君

杉山 貞男 君 ・ 竹内 真三 君

谷口 暢宏 君

4年(9名)

秋山 茂則 君 ・ 深見 章 君

加藤 敏昌 君 ・ 宮尾 紘司 君

大口 弘和 君 ・ 大谷 和雄 君

尾関 武弘 君 ・ 和田 正敏 君

矢野 勝久 君

3年(9名)

青山 敏郎 君 ・ 堀江 宏輝 君

木全 昭二 君 ・ 松藤 国弘 君

永井 正義 君 ・ 西川 豊長 君

太田 茂 君 ・ 笹野 義春 君

鈴木 正男 君

2年(5名)

池田 隆 君 ・ 久保田 皓 君

西村 禎二 君 ・ 武内 清 君

鷲野 義明 君

1年(7名)

小林 明 君 ・ 真下 勝利 君

野村 義雄 君 ・ 小笠原 清 君

魚津 常義 君 ・ 渡辺 辰夫 君

吉田 節美 君

ホームクラブ(1名)

加藤 敏昌 君

◇例会変更のお知らせ

名古屋名東RC 7/21 (水)夜間例会の為、7/23 (木)かすが荘にてPM 6:00 より

名古屋港RC 7/24 (金)ファイヤーサイドミーティングの為、7/18 (土)ホテルオークラレストランにてPM 6:00 より

名古屋北RC 7/24 (金)FSMの為、か茂免にてPM 5:30 より

◇次回例会(7月14日)

講演 “料理の心”

日本料理「加瀬」

加瀬 英比古 氏 (紹介 菅原君)

◇次々回例会(7月21日)

講演 “京都の老舗水統の秘訣について”

名古屋経済大学教授 経済学博士

足立 政男 氏 (紹介 浅井君)

1987~88年度理事役員・委員

会長 (理事) 野村 義雄 SAA 大口 弘和 理事 (会計) 真下 勝利
 会長エレクト (理事) 新美 敏 副SAA (クラブ審仕副) 鷺野 義明 理事 (直前会長) 加藤 敏昌
 副会長 (理事・クラブ審仕) 武内 清 理事 (社会審仕) 水野 賀統 理事 (直前幹事) 青山 敏郎
 幹事 (理事) 深見 章 理事 (国際審仕) 黒須 一夫
 副幹事 畑江 宏輝 理事 (職業審仕) 浅井 誠寿

委員会	委員長	副委員長	委員	委員会	委員長	副委員長	委員
クラブ審仕	武内 清	鷺野 義明		プログラム	秋山 茂則	太田 茂	浅井 誠寿
出席	池田 隆	吉田 節美	宮尾 絃司				茂原 宜彦
職業分類	谷口 暢宏	宮尾 絃司	青山 敏郎	広報	鈴木 正男	矢野 勝久	竹内 真三
会報	北野寿三郎	小笠原 清	魚津 常義	ロータリー情報	加藤 敏昌	菊池 昭元	加藤 正義
視聴活動	松居 敬二	小林 明	石田 耕嗣	SAA	大口 弘和	鷺野 義明	加藤 大豊
			菊池 昭元				小池 宗
			松藤 国弘	エコボックス	永井 正義	渡辺 辰夫	尾関 武弘
			水野 民也	職業審仕	浅井 誠寿	成田 良治	青山 敏郎
			水野 賀統	社会審仕	水野 賀統	小池 宗	渡辺 辰夫
			大口 弘和	青少年審仕	大谷 和雄	木全 昭二	魚津 常義
			谷口 暢宏	国際審仕	黒須 一夫	和田 正敏	杉山 貞男
雑	松藤 国弘	尾関 武弘	黒野 貞夫	ロータリー財団	久保田 皓	佐野 寛	小坂井盛雄
会	西村 慎二	水野 民也	竹内 真三	米山奨学	原 富士雄	林 淳三	三輪 康
員	笹野 義春	安藤銀之助	石田 耕嗣	会		西川 豊長	
選							
考							
増							
強							

1986~87年度 例会出席率 (個人別)

(50 meetings)

会員名	ホームクラブ				出席率 (%)	出席率 (%)	会員名	ホームクラブ				出席率 (%)	出席率 (%)
	他	欠	合	出				他	欠	合	出		
秋山 茂則	41	9	0	50	32	100	小坂井 盛雄	37	12	1	49	74	98
安藤 銀之助	34	11	5	45	68	90	久保田 皓	36	14	0	50	72	100
青山 敏郎	43	8	0	51	86	102	黒野 貞夫	37	17	1	54	74	108
浅井 誠寿	32	16	3	48	64	96	黒須 一夫	45	8	0	58	90	106
深見 章	31	19	0	50	62	100	真下 勝利	38	18	0	51	76	102
原 富士雄	24	25	1	49	48	98	松藤 国弘	26	25	0	51	52	102
林 淳三	26	23	1	49	52	98	松居 敬二	25	25	0	50	50	100
畑江 宏輝	33	17	0	50	66	100	三輪 康	26	27	0	58	52	106
池田 隆	45	7	0	52	90	104	宮尾 絃司	38	12	0	50	76	100
石田 耕嗣	40	19	0	59	80	118	水野 民也	33	21	0	54	66	108
加藤 正義	26	11	14	37	52	74	水野 賀統	21	30	0	51	42	102
加藤 大豊	39	11	0	50	78	100	永井 正義	35	17	0	52	70	104
加藤 敏昌	50	1	0	51	100	102	成田 良治	41	9	0	50	82	100
菊池 昭元	38	13	0	51	76	102	新美 敏	32	16	2	48	64	96
木全 昭二	40	10	0	50	80	100	西川 豊長	42	8	0	50	84	100
北野 寿三郎	33	4	0	37	66	102	西村 慎二	41	9	0	50	82	100
小林 明	40	10	0	50	80	100	野村 義雄	45	8	0	53	90	106
小池 宗	25	23	2	48	50	96	小笠原 清	41	10	0	51	82	102

() : 中途入会者の実質出席率